学校番号	117

令和３年度　外国語科

教科	外国語	科目	英語表現Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
教材名・ 副教材等	Revised BIG DIPPER English Expression Ⅰ　(数研出版) Revised BIG DIPPER English Expression Ⅰ　ワークブック (数研出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語表現Ⅰの授業は、人々の実生活に即したバラエティに富んだトピックを学習しながら「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力バランスよく習得することを目標にした授業です。そのため、まずは文法をしっかり固めることです。聞いたり問題を解いたりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。テキストの例文をしっかりと理解し、英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）
主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。 基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど、日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	コミュ英Ⅰ ペアワーク グループワーク 英表Ⅰ ペアワーク グループワーク インタビューテスト	簡単な語や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。 趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。	コミュ英Ⅰ 定期考査 英表Ⅰ 定期考査 課題チェック レポート	決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解できる。ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	コミュ英Ⅰ リスニングテスト 英表Ⅰ 定期考査 リスニングテスト	50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。 簡単な語や表現を使って書かれた短い物語を理解することができる。	コミュ英Ⅰ 定期考査 音読テスト 英表Ⅰ 小テスト

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (1 時間)	はじめに①	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・天気・時間・距離・明暗などを表す場合の英語の表現を学び、使ってみる。	・「だれが」「～する」をはっきりと示す。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・日本語で省略される主語に注意して、英語の文を表現する。	・日本語と英語の基本的な語順の違い，主語の置きかたの違いなどについて理解する.	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・ポイントとなる〈主語＋動詞＋…〉の構造のほかに，What do you call ～ in English?, be good at, How far is it from A to B? などの表現を習得する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけている。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本語と英語の語順の違いについて理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・日本語と英語の語順の違いについて理解している。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 2 (1 時間)	はじめに②	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日常的に用いられる日本語の表現を英文にし、実際に使ってみる。	・動詞をうまくつかって英文を書く。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・表現したい内容に合致した適切な意味を持つ動詞を用いて正しい英文を作る。	・英語の表現を通して，それに対応する日本語の表現の本質的な意味などに対する理解を深める.	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・基本的な動詞を含む英文の意味を理解する。	・ポイントとなる動詞の用法のほかに，look（見える），coffee・hair〔不可算名詞〕，pass[get, give]＋O＋O などの表現を習得する.	・基本的な動詞を含む英文の意味を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英文の表現に対応する日本語について理解を深める。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (2時間)	はじめに③	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・名詞や冠詞の用法を理解し、実際に文を作り使ってみる。	・名詞の数を常に意識する。冠詞の使い方を学ぶ。	・必要に応じて辞書などを活用して表現している.	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・単数形・複数形・定冠詞・不定冠詞に注意して正しい英文を作る。	・名詞・冠詞の用法を通じ, 英語の名詞の数(可算・不可算), 不定・限定の概念に関する理解を深める.	・単数形・複数形・定冠詞・不定冠詞に注意して正しい英文を作ることができる。	・間違うことを恐れず, 積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・名詞の数や冠詞の種類・有無に注意して英文を理解する。	・ポイントとなる名詞・冠詞の用法のほかに, be made from[of], a lot of などの表現を習得する.	・語句や表現, 文法事項などの知識を活用して, 内容を的確に理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・名詞・冠詞の用法、数、不定・限定の概念を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 4 (2時間)	My Friends	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「肯定」「否定」を表す文や疑問文を作り、実際に使ってみる。	・友人について英文で表現する。	・「肯定」「否定」を表す文や疑問文を作り、実際に使うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・not を用いた否定の英文を作る。 yes-no で答えられる疑問文、疑問詞を用いた疑問文を作る。	・英語の否定文・疑問文の表現形式を理解するほか, 英語では否定語が日本語と比較して前の方に置かれ, 否定の意志を早い段階で表現することなどを理解させる.	・not を用いた否定の英文を作る。yes-no で答えられる疑問文、疑問詞を用いた疑問文を作ることができる。	・間違うことを恐れず, 積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・肯定文・否定文・疑問文の内容を聞き取り理解する。	・ポイントとなる用法のほかに, be interested in, be good at, have a cold, get up, not very などの語彙や表現を習得する	・語句や表現, 文法事項などの知識を活用して, 内容を的確に理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英文では否定語が文の前のほうに置かれていることを理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (2時間)	My Family	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・時制を英語で表す表現を考え、実際に文を作り使ってみる。	・家族のことを英文で表現する。	・必要に応じて辞書などを活用して表現している.	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・(現在形)(現在進行形)(過去形)(過去進行形)のそれぞれの表現形式を使いこなす.	・日本語で「～している」「～していた」がいつも進行形になるわけではないことに注意して, 英語の表現を考える	・(現在形)(現在進行形)(過去形)(過去進行形)のそれぞれの表現形式を使いこなせる。	・間違うことを恐れず, 積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・「現在形」「現在進行形」「過去形」「過去進行形」についてそれぞれの英文の意味を理解する.	・ポイントとなる時制の用法のほかに, take a walk, take a shower[bath], turn off などの語彙や表現を習得する	・語句や表現, 文法事項などの知識を活用して, 内容を的確に理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本語で「～している」「～していた」がいつも進行形になるわけではないことに注意して, 英語の表現を考える.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 6 (2時間)	Pastime	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「未来」を表す英文を作り、使ってみる。	・余暇の過ごし方について英文で表現する。	・「未来」を表す英文を作り、使うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・will、be going to *do*, be *doing* を用いて未来の意味を表現する.	・英語の be going to *do*, be *doing*, 未来を表す現在形がもつ含み〔話者の心的態度〕を理解する. また, 状況に応じて, will, be going to *do*, be *doing* を使い分ける.	・読み手や聞き手が理解しやすいように表現している.	・間違うことを恐れず, 積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・予測・自然の成り行き」「意志未来」「前から計画していること」「近い未来の予定」の意味, 個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる未来表現の用法のほかに, sunny, gardening, win the match, in the future, run a marathon, arrive at などの語彙や表現を習得する.	・語句や表現, 文法事項などの知識を活用して, 内容を的確に理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語の be going to *do*, be *doing*, 未来を表す現在形がもつ含み〔話者の心的態度〕を理解する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (2時間)	My Town	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英・語で「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表す英文を実際に作り，それを使ってみようとする.	・自分が住む町について英文で表現する。	・完了形の英文が理解できている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・have＋過去分詞で「現在完了」、had＋過去分詞で「過去完了」have[had]＋been＋～ingで「現在[過去]完了進行形」の意味を理解する.	・英語の「現在完了」のもつ含み―過去のでき事を現在と関連付けて表現する形式であること―を，「完了・結果」「経験」「継続」の意味に応じた日本語の表現とともに理解させる	・have＋過去分詞で「現在完了」、had＋過去分詞で「過去完了」have[had]＋been＋～ingで「現在[過去]完了進行形」の意味を理解できる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・「完了・結果」「経験」「(状態の)継続」の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・現在完了(進行)形，過去完了(進行)形の用法のほかに，move to, before, until, have a fever, not ～ either, in the past ～ years, a lot などの語彙や表現を習得する.	・説明などを読んだり聞いたりして，特に重要な事実等を捉えることを通じ，全体の要旨を理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語の「現在完了」のもつ含みを，「完了・結果」「経験」「継続」の意味に応じた日本語の表現とともに理解させる.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 8 (2時間)	Our Teachers	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「可能」「許可」「推量」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを考え，実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・先生のことを助動詞を用いた英文で表現する。	・必要に応じて辞書などを活用して表現している.	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・can, be able to を用いて「可能」、can, may を用いて「許可」、may, must, can't [cannot] を用いて「推量」の意味を表現する.	・同じ助動詞でも文脈によって意味に違いがあることや，同じ「許可」を表す助動詞(can, may)にもていねいさに違いがあることを理解する.	・読み手や聞き手が理解しやすいように表現している.	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・「可能」「許可」「推量」の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる助動詞の用法のほかに，certainly, someday, unicycle, unbelievable, in the future, professional などの語彙や表現を習得する.	・説明などを読んだり聞いたりして，特に重要な事実等を捉えることを通じ，全体の要旨を理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・同じ助動詞でも文脈によって意味に違いがあることや，同じ「許可」を表す助動詞(can, may)にもていねいさに違いがあることを理解する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (2時間)	Visiting a Museum	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを考え，実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・美術館訪問について助動詞を使って表現する。	・助動詞を用いて英文を作ることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・「助言・義務」、「義務・必要」、「禁止」、「不必要」、「過去に関する推量」，「過去に関する後悔」の英語を表現する.	・shouldとmustの意味の強さや，must not とdon't have to の違いなどを認識する.	・読み手や聞き手が理解しやすいように表現している.	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる助動詞の用法のほかに，miss the chance, have a toothache, break up, take the roll などの語彙や表現を習得する.	・説明などを読んだり聞いたりして，特に重要な事実等を捉えることを通じ，全体の要旨を理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・shouldとmustの意味の強さや，must not とdon't have to の違いなどを認識する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 10 (2時間)	Famous People	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「SはCになる[である]」「SはOを～する」「SはO(人)にO(物)を～する」「SはOをCにする」「SはOをC と呼ぶ」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを考え，実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・有名人について文型を意識して表現する。	・英語の基本文型が理解できている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・SVC, SVO, SVOO, SVOC の文型を理解し、英文を作る。	・英語の基本的な文構造を把握し，表現したい内容が語順に大きく依拠することを理解する.	・SVC, SVO, SVOO, SVOC の文型を理解し、英文を作ることができる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・文型に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる文型のほかに，get angry, feel well, look healthy, skater などの語彙や表現を習得する.	・文型に注意して、個々の英文の意味を理解することができる。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語の基本的な文構造を把握し，表現したい内容が語順に大きく依拠することを理解する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 11	Reading	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

(2時間)		・英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを考え，実際に文を作り，使ってみようとする.	・読書について受動態の英文で表現する。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・「受け身」の英文法を理解し、作文する。	・英語で「受け身」を表すときの言語の形式や，「受け身」を使用する状況について，理解を深める.	・「受け身」の英文法を理解し、作文できる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・「受け身」の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる受け身の用法のほかに，in simple English, graduation ceremony, read ～ in the original, works, make ～ into movies などの語彙や表現を習得する	・説明などを読んだり聞いたりして，特に重要な事実等を捉えることを通じ，全体の要旨を理解することができる.	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語で「受け身」を表すときの言語の形式や，「受け身」を使用する状況について，理解を深める.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている.	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 12 (3時間)	Studying Abroad	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・不定詞の意味や文法を理解し，実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・海外留学について不定詞を用いた英文で表現する。	・不定詞を用いた英文が理解できる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・不定詞の名詞的用法，形式主語構文〈It is ... to ～〉，不定詞の否定形〈not to ～〉，〈It is ... for A to ～〉を用いて，それぞれ表現する.	・形式主語構文により，英文の整え方（主語が過大になるのを避ける点）を学習する. 形容詞的用法により，被修飾語を後ろから修飾する点について，日本語との違いを認識させる.	・不定詞の名詞的用法，形式主語構文〈It is ... to ～〉，不定詞の否定形〈not to ～〉，〈It is ... for A to ～〉を用いて，それぞれ表現できる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・不定詞の「名詞的用法」「形容詞的用法」「疑問詞＋to-不定詞」の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる不定詞の用法のほかに，fill in the form, compose music, global warming, save electricity などの語彙や表現を習得する.	・不定詞を用いた英文が理解できている。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		/形式主語構文により，英文の整え方（主語が過大になるのを避ける点）を学習する．また，形容詞的用法により，被修飾語を後ろから修飾する点について，日本語との違いを認識させる.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・形式主語構文が理解できている。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 13 (3時間)	Advice	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・不定詞を用いて実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・不定詞・原形不定詞を用いた英文を書いてみる。	・不定詞を含む英語構文が理解できている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・to-不定詞の副詞的用法を用いて「目的・原因」「判断の理由」などの意味を表現する.	・to-不定詞の副詞的用法に関し，動詞・形容詞などとのコロケーションに注意しながら，さまざまな意味をもつことを理解する.	・不定詞の副詞的用法が理解できている。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・to-不定詞の副詞的用法や原形不定詞の用法に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・〈SVO＋不定詞〉の構文について，この構文をとる動詞に類似した意味があること，O と不定詞の間に意味上では〈S＋V〉の関係があることなど，英文の構造に理解を深める.	・不定詞の副詞的用法が理解できている。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・to-不定詞の副詞的用法に関し，動詞・形容詞などとのコロケーションに注意しながら，さまざまな意味をもつことを理解する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・不定詞の副詞的用法が理解できている。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 14 (3時間)	Hobbies	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「～すること」を動名詞とto-不定詞の違い、それぞれの意味上の主語を考え，実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・動名詞と不定詞を用いて自分の趣味について英文で表現する。	・動名詞と不定詞の名詞的用法が理解できている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・～ingを用いて「～すること」を英語で表現する.	・「～すること」を表現する動名詞に関し，基本的な用法を習得し，不定詞との共通点・相違点の理解を深める.	・動名詞が理解できている。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・動名詞に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる動名詞の用法のほかに，write back to (you), sooner, experience, turn down, there is a strong possibility of ～ing, fantastic などの語彙や表現を習得する.	・動名詞が理解できている。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「～すること」を表現する動名詞に関し，基本的な用法を習得し，不定詞との共通点・相違点の理解を深める.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞が理解できている。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 15 (3時間)	My Vacation	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・現在分詞・過去分詞を用いた英文を作り，それを使ってみようとする.	・休暇中に起こる身の回りのことを分詞を使って表現する。	・現在分詞や過去分詞にはそれぞれどのような違いがあるのかを理解している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・現在分詞，過去分詞を用いて，それぞれ「～している…」「～された…」と名詞を説明する表現を行う	・分詞の形容詞的用法を通じて，英語の修飾の形態〔主に後置修飾〕に関して習熟する.	・現在分詞，過去分詞を用いて，それぞれ「～している…」「～された…」と名詞を説明する表現ができる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・現在分詞，過去分詞に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・補語の位置にくる分詞の構文を理解する. 〈SVOC〔＝分詞〕〉の構文ではOとCの間にSV関係が成立することを認識する.	・現在分詞，過去分詞に注意して，個々の英文の意味を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞の形容詞的用法を通じて，英語の修飾の形態〔主に後置修飾〕に関して習熟する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞の形容詞的用法を通じて，英語の修飾の形態〔主に後置修飾〕に関して理解する。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 16 (3時間)	In a Zoo	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「2つ以上のものを比較する」にはどのような表現を用いるのかを考え，実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・比較を用いた英文で動物園での経験を表現する。	・英語で「2つ以上のものを比較する」にはどのような表現を用いるのかを考え，実際に文を作り，使うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・「同じくらい～である」や「…ほど～でない」の意味を表現する.	・比較を表す表現に関し，英語では形容詞・副詞の比較変化が起こることを理解する. 語尾を～erと変化させる語や，more ～となる語，不規則変化する語を，実例を通じて学習する.	・「同じくらい～である」や「…ほど～でない」を英語で表現できる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・同等比較や比較級を用いた比較表現に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・ポイントとなる比較の用法のほかに，one（代名詞），wake up，local train，action movies などの語彙や表現を習得する.	・同等比較や比較級を用いた比較表現に注意して，個々の英文の意味を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較を表す表現に関し，英語では形容詞・副詞の比較変化が起こることを理解する. 語尾を～erと変化させる語や，more ～となる語，不規則変化する語を，実例を通じて学習する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較を表す表現に関し，英語では形容詞・副詞の比較変化が起こることを理解する. 語尾を～erと変化させる語や，more ～となる語，不規則変化する語を理解している。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 17 (3時間)	Our Team	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「最も～である」や，「2 倍の～」「できるだけ～」といった内容を表すには，どのような表現を習得する。	・自分が所属するチームについて、比較の英語表現を用いて述べる。	・英語で「最も～である」や，「2 倍の～」「できるだけ～」といった内容を英語で表現できる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・最上級の表現習得と同時に、比較の範囲や対象を表したり，最上級の程度を by far で強めたり，序数詞を用いて「何番めに～である」と表現したりする.	・英語では最上級の内容を，形容詞・副詞の語尾を～est と変化させたり，most ～としたり，不規則に変化させたりする点について，実例を通じて学習する.	・最上級の表現習得と同時に、比較の範囲や対象を表したり，最上級の程度を by far で強めたり，序数詞を用いて「何番めに～である」と表現したりできる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・最上級を使った表現，原級を使った表現に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・倍数の表現や「できるだけ～」が比較構文と結びついて表されることを理解する.	・最上級を使った表現，原級を使った表現に注意して，個々の英文の意味を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語では最上級の内容を，形容詞・副詞の語尾を～est と変化させたり，most ～としたり，不規則に変化させたりする点について，実例を通じて学習する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・最上級の内容を，形容詞・副詞の語尾を～est と変化させたり，most ～としたり，不規則に変化させたりすることができる。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 18 (3時間)	Neighbors	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で名詞を説明する表現について，関係代名詞を用いて実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・関係代名詞を用いて身近な人について表現する。	・英語で名詞を説明する表現について，関係代名詞を用いて実際に文を作り，それを使うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞を用いて，「人」や「物・事」を説明する. その場合に，関係詞節内での関係詞の働き(主語・目的語)や，先行詞と関係詞節内での動詞の呼応に注意する.	・関係詞を省略する場合や，先行詞が前置詞の目的語にあたる場合に注意して表現する.	・関係代名詞を用いて，「人」や「物・事」を説明することができる。	・間違うことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて表現している.
		「外国語理解の能力」			
		・関係代名詞の「主格」，「目的格」に注意して個々の英文の意味を理解する.	・話題となる「人」「物」について，関係詞節を用いて要約できるように情報を聞き取る.	・関係代名詞の「主格」，「目的格」に注意して個々の英文の意味を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係詞節による後置修飾に関し，日本語との違いなどに注意して，理解を深める.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係詞節による後置修飾に関し，日本語との違いなどに注意して，理解している。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 19 (3時間)	Speeches	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「～すること，～するもの」，「～する場所[時，理由，方法]」という意味を英語で表現し、実際に文を作り，それを使ってみようとする.	・関係代名詞what、関係副詞について学ぶ。	・「～すること，～するもの」，「～する場所[時，理由，方法]」という意味を英語で表現し、実際に文を作り，それを使うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞 what を用いて「～すること，～するもの」の意味を表現する.	・関係代名詞 what，関係副詞 when を用いて，重要であることや，四季のうちの 1 つの説明を，英語で表現する.	・関係代名詞 what を用いて「～すること，～するもの」の意味を表現することができる。	・うまく表現できないことがあっても，既知の語句や表現を用いるなどして情報や考えなどを伝えている.
		「外国語理解の能力」			
		・関係代名詞 what，関係副詞 where，when，why，how に注意して，個々の英文の意味を理解する。	・関係代名詞what，関係副詞whenを用いて要約できるように，対話の内容を聞き取る.	・関係代名詞 what，関係副詞 where，when，why，how に注意して，個々の英文の意味を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞 what が先行詞を含む形で名詞節を作る点を理解し，それを含む慣用表現を習得する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞 what が先行詞を含む形で名詞節を作る点を理解し，それを含む慣用表現を習得している。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。
Lesson 20 (3時間)	My Wish	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「現在や過去の仮定」「現在や過去と異なる願望」を表す文を作り，それを使ってみようとする.	・仮定法について学び、英文を書いてみる。	・英語で「現在や過去の仮定」「現在や過去と異なる願望」を表す文を作り，それを使うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・〈If+S'＋動詞の過去形，S＋助動詞の過去形＋動詞の原形〉、〈If+S'＋動詞の過去完了形，S＋助動詞の過去形＋have＋過去分詞〉を理解し表現する.	・〈I wish＋仮定法〉〈as if＋仮定法〉の構文を用いて事実と異なる願望や比喩などを表現する	・仮定法の英文を作ることができる。	・うまく表現できないことがあっても，既知の語句や表現を用いるなどして情報や考えなどを伝えている.
		「外国語理解の能力」			
		・仮定法過去，仮定法過去完了，願望を表す用法に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・願望の表現や仮定法過去完了の表現に注意して，対話の内容を聞き取る.	・仮定法の英文を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法とは，現実から離れた仮の話であることを表現している点を理解する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法で表現することができる。仮定法を理解している。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。

単元(配当時間)	教材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 21 (3時間)	A Birthday Gift	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語で「～であること」「～かどうか」や，「～するとき」「～なので」「もし～ならば」の意味を表す英文を作り，使ってみようとする.	・接続詞を用いてプレゼントについて英語で表現する。	・英語で「～であること」「～かどうか」や，「～するとき」「～なので」「もし～ならば」の意味を表す英文を作り，使うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・練習問題の解答状況を確認する。
		「外国語表現の能力」			
		・名詞節を導く that, if[whether] や，副詞節を導く when, because, if を用いて，従節を含む文を表現する.	・I hear[know] that ～や because を用いて，自分が伝え聞いたこと[知っていること]や，興味のあることとその理由を表現する.	・名詞節を導く that, if[whether] や，副詞節を導く when, because, if を用いて，従節を含む文が表現できる。	・うまく表現できないことがあっても，既知の語句や表現を用いるなどして情報や考えなどを伝えている.
		「外国語理解の能力」			
		・名詞節や副詞節を導く接続詞の用法に注意して，個々の英文の意味を理解する.	・発話内容を聞き取り，接続詞 whether[if], because などを含む文を完成させる.	・名詞節や副詞節を導く接続詞の用法に注意して，個々の英文の意味を理解している。	・授業中の取り組み・言語活動から確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本語では従節の内容が文の前半にくることが多いが，英語ではそうではない点を理解する.	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・日本語では従節の内容が文の前半にくることが多いが，英語ではそうではない点を理解している。	・定期考査の筆記問題で、知識が身についているかを判断する。 ・ワークブックを提出させる。